



根室支部 支部長
岩田 憲明

新しい年の門出にあたり北海道最東の根室支部から心よりお祝い申し上げます。今年もよろしくお祈り申し上げます。

さて、これまでの支部事業は、年度当初に策定した事業計画に則り粛々と進められています。研修事業においては、今年度の講師も幅広い見識と潤沢な法律知識を合わせ持つ公証人をお願いしています。講師からは、研修内容は勿論ですが、今後の業務開拓に役立つ多彩なヒントや、それに纏わる様々を教授され、受講する私たちにとってはこの研修が大きな財産となりつつあります。

対外的な事業の主はやはり広報活動でしょうか。人口減に苦しむ管内の各自治体は、特に若者流出の歯止め躍起となっています。極端な高齢化社会が迫る10年後20年後を見据えたときには寒々としませんが、ピンチはビジネスチャンス！厳しかろう明日に向けて、私たちは生き残らなければならず、そのためには住民から頼りにされ、しなやかに臨機応変に事案に対応する心を持ち、そして何よりも社会に奉仕することが重要と考えます。

次年度の支部スローガンは「来たれ高齢化社会、来たれ人口減！負けないぞー」

これにしましょうか。

結びに会員皆様にとりまして、より良き御年になりますことをご祈念申し上げ、年初のご挨拶とさせていただきます。ありがとうございます。



函館支部 支部長
小林 八重子

昨日から今日へ・・・この繰り返しを淡々とやり過ごし、酉年から戌年を迎えました。

されど、この平凡な営みがどんなに大切なものであるかを考えさせるのが新年なのかと思っています。行政書士倫理綱領の【国民と行政とのきずな】をしっかりとジョイントするために行政書士が必要とされているならば、その原点に立ち返って、その答えを出し、自己採点を附してみるのもまた新年なのかと思っています。ネットで、誰もが多くの情報を瞬時に得ることの出来る今の世の中で、行政書士は自己研鑽をしっかりとしていくことを求められていますし、支部に於いても会員の求める情報の提供をしていかなければならないと思っています。よく、行政書士の仕事内容が分からないと言われることがありますが、これは取り扱える業務の多さによるものでしょう、これを知って頂く為の広報活動は、支部の大切な事業の柱だと思っています。

何をするのが行政書士なのか市民の方々に理解がされていないことは、日々痛感させられています。とにかく【困りごと窓口案内人】と頼って頂く事を念頭に事業を構築していきたいと思っています。

又、日本人の人口減少が顕著になった昨今、行政書士業務の方向性も変化してくることが予想されます。それらをしっかりと見据えながら、次代にバトンを引き継ぐ年にしたいと思っています。今後とも北海道会のご指導ご鞭撻を切にお願いし年頭のご挨拶といたします。